橋梁新聞　2010年7月1日(木) 掲載

アイペック　社名変更で新たな事業展開

検査関連事業を総合化、全国展開へ

アイペック（本社・富山市）が6月1日、富山検査から社名を変更、新たなスタートを切った。事業の総合化を目指し、全国展開を図る。吉岡裕一代表取締役社長に社名変更の背景、今後の事業展開について聞いた。

◇　◇　◇

――6月1日に社名を変更しました。背景は

「昭和51年4月の創業以来、地元の富山を中心に非破壊検査の仕事をしてきましたが、近年は業務が計測や調査、診断など検査に関連する分野に広がり、それに伴い、全国的な事業展開のかたちになってきています。他県では地元意識もあり抵抗があり、社名もローカルからグローバルをイメージできるように変更しました。既に昨年、大宮に東日本支店、秋田に東北営業所を開設しています。

株式会社アイペック
代表取締役社長
吉岡　裕一氏

「また、検査だけでなく調査、計測、診断、補修設計提案なども含めた総合的な意味を込めています」

――新社名アイペックもそこを意識した

「IはInspection（検査・調査・点検）と、Infrastructure（社会の基礎となる施設・基盤）、PはPreservation（保全）、EはEngineer（エンジニア）、CはConsultant（コンサルタント）の頭文字を組み合わせ、今後の業務イメージを現しました」

社会基盤の保全が柱の1つ

――ここ数年の業績は

「ここ5年ぐらいは売上が6億円～7億500万円、利益も2000万円前後で推移しています。ただ、リーマンショック後は、新設の検査は減り、予防保全による既存ストックの維持管理に力を入れる時代です。当社も社会基盤の予防保全、維持管理に向け、検査に限定せず補修設計、補修工事を総合的に担えるようにしています」

――現在の売上に占める業務内容別の割合は

「エックス線、超音波など6種目の非破壊検査で約6割、調査・診断、検査機械開発・販売で約4割です」

――橋梁関連分野での主な実績は

「北陸新幹線建設ではこの間、鉄筋の超音波やコンクリートのかぶり厚調査など多くの実績を有しています」

――橋梁関連の全体の売上に占める現状は

「現状は5%ぐらいですが、新設橋梁も工場、現場とも検査基準が厳しくなり、これまでエックス線透過だけのものが、疲労応力のかかる個所は超音波などを加えてきていますし、国土交通省は施工段階での検査を増やしてきています。既設構造物も国はもとより、地方自治体の長寿命化修繕計画による需要なども見込め、3～5年ぐらいで売上の10～15%を見込んでいます」

――今後の全国展開で業務の中心は

「これまでは鋼構造物の非破壊検査業務を一つの柱としてきました。今後は土木構造物など社会基盤保全の調査、診断をもう一つの柱にしていきます。現状は非破壊2、社会基盤保全1の売上比率ですが、今後は後者を伸ばしていきます」

――今後の事業展開で強調すべきことは

「検査、設計、工事をそれぞれ主事業とする会社はたくさんありますが、これらを総合的に事業とする会社は、そう多くはありません。当社はそれぞれの業務量は大きくは大手と競争するのではなく、検査、評価、設計、補修工事を総合的に事業とする会社を目指します。安全、品質が求められる時代にあって、総合化することによって、適切な補修方法や必要な検査方法が分かってきます」

（聞き手＝川端哲郎）

～ 見えないものをみる ～
株式会社 アイペック
構造物の非破壊検査で培った技術と経験を
ベースに、橋梁・鋼コンクリート構造物の
調査・診断から復元設計・補強計画まで!!
お確かめください　充実した有資格者集団の
実力と豊富な実績を
■建設コンサルタント登録
■CIW　A種登録
■東京都検査機関登録
■計量証明事業登録
お問合せ、見積り等 なんでもお気軽にご相談下さい。
メール、お電話、FAXでお問合せを受け付けております。
メール、FAXは24時間受付可能です。
本社
〒931-8326　富山県富山市上野新町5-4
TEL 076-438-0808　FAX 076-438-0833
URL http://www.ipec-com.jp
E-Mail info@ipec-com.jp
東日本支店
〒330-0801　さいたま市大宮区土手町1-38-1
アソルティ大宮ル・ノード5F
TEL 048-782-4630　FAX 048-782-4631